



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

温かい言葉

令和4年度のまとめの学期が始まり、一週間が経とうとしています。子供たちの活気もどってきた学校の中に、温かい言葉を積極的に使っていこうという動きがあり嬉しく思っています。

令和4年度の始業式に、この一年間「温かな言葉、美しい言葉を大切に、みんなが笑顔で輝く学校に」という合言葉をもとに、言葉を大切にしていきたいと思います。

取組の一つに、毎朝、放送で、放送委員が温かな言葉を紹介し、みんなで使っていこうと呼びかけています。13日(金)の言葉は、がんばろうでした。放送委員の子供たちがすばらしいのは、その言葉を使うことを呼びかけるだけでなく、その言葉を使うことの意味にも触れて話をしてくれることです。金曜日は、『がんばろう』という言葉が言われたら、元気になります。だから使っていきましょう」と呼びかけてくれました。6年生の放送委員の子が、「校長先生もがんばってください」と笑顔で励ましてくれて、本当に嬉しく思いました。

放送室をのぞくと、今日の「あたたかい言葉」カレンダーがありました。どんな言葉を紹介したのかが書かれていました。

「お願いします・ありがとう・大丈夫・おつかれさま・がんばって・ごくろうさま・手伝おうか・どういたしまして・無理しないでね・元気だして・どんまい・ありがとう・一緒にがんばろう・次があるよ」等です。温かい言葉は、たくさんあります。子

供たちの心の中に、たくさんの温かい言葉があるからこそ、外に向かって表現していくことができると考えます。家庭・地域・学校の中で育まれてきた思いをさらに広げていってほしいと願っています。これからも、お互いに相手のことを考えて、温かな言葉を進んで使ってほしいと思いますし、私自身も、自分が言われて嬉しい言葉を積極的に使っていきたいと思います。

自分の力を信じて

先週の校長通信でも成人式について触れましたが、市長が新成人に向けて語られた話が印象的だったので、紹介いたします。

「1400兆分の1」・・・これは、自分が命を授かり、この世に誕生する確率とのことです。このことから、自分が、今有ることは難しいことであること、だから有難いのだということ。そして、これから生きていく中で楽しいことや嬉しいことがたくさんあると同時に、辛く、悲しいこともあると思うが、奇跡とも言える確率で授かった命をもって生きているということは、どんな困難にでも立ち向かえる力があるのだから、自信をもって生きていってほしいという内容のお話でした。

生まれてから20年を迎えることができた新成人のみならず、今生きる子供たちにも自分の力を信じて、自信をもって生活してほしいと思いました。

この世に誕生してきた、一つ一つのかげがえのない命。日々子供たちの成長を願い真摯に向き合っていきたいと思います。